

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立義務教育学校八束学園後期課程

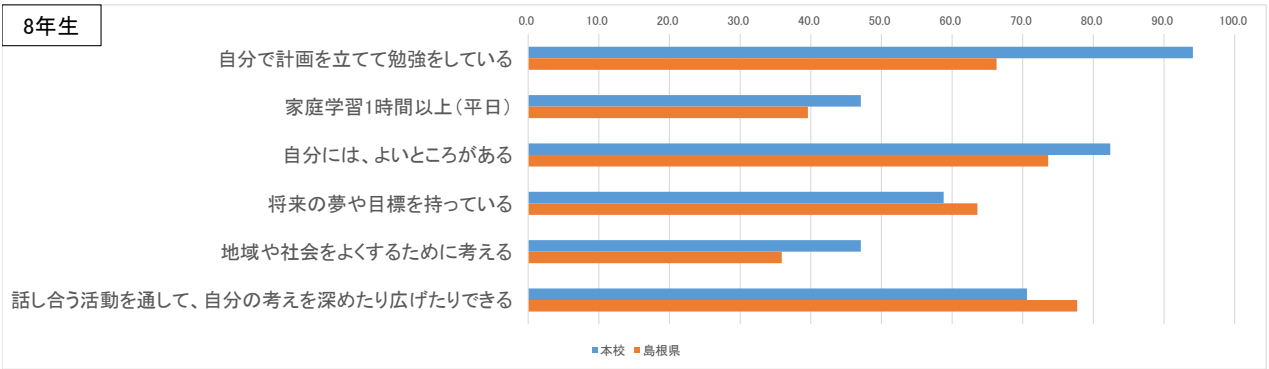
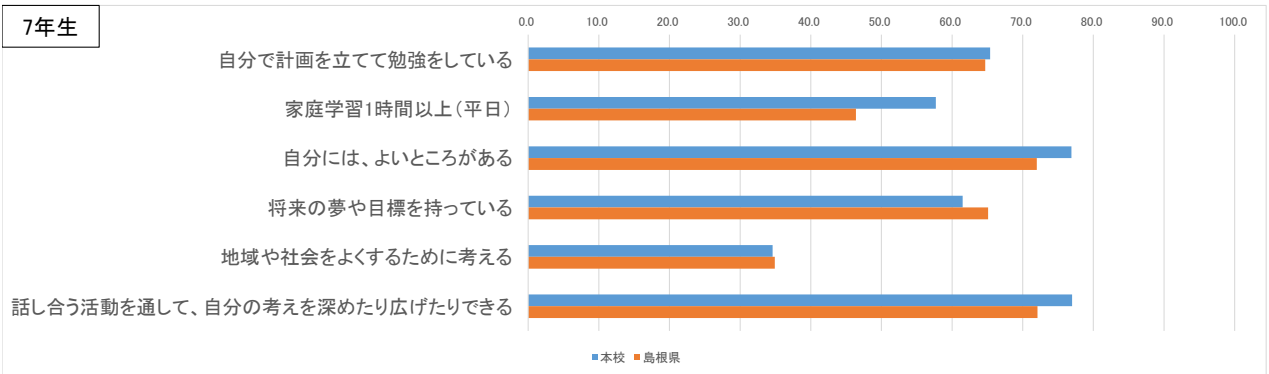
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	7年生	8年生
国語	○言語力、書く力が特に平均値を上回っている。今年度は、帯単元として漢字テストを、また各単元の終わりには、自分の考えを作文する学習を取り入れた。この積み重ねが功を奏したといえる。 ○授業の中では、積極的に辞書を引き語句を調べている。授業中に、進んで辞書を引き学ぶ生徒も多い。その結果、語彙が豊富になってきていることが、言語力の向上につながっていると思われる。 ●一方で、資料の正確な読み取りにはやや課題が見られる。今後は、グラフや新聞記事の内容を根拠に作文する活動を取り入れていきたい。	○言語力、書く力が特に平均値を大きく上回っている。7年生と同様、帯単元での漢字テストや各単元での作文課題の取組が功を奏していると考えられる。 ○文章読解力も高く、本文の段落と段落、語句と語句の関連性をつかみながら内容を理解できている学習者が多い。 ○分からないことがあれば積極的に質問をする学習者が多く、その主体的な態度が全体的に国語の力を向上させているといえる。 ●今後は、情報と情報の関係を比較したり、読み取らせたりする学習活動を通して、情報を根拠に自分の考えを述べる力を育成していきたい。
数学	○基礎的な力は県平均と比べ、上回っている。基礎的な内容の小テストを繰り返し実施したり、ペアやグループで既習事項を復習する時間をとったりしたことで、基礎的な学力がついたと思われる。 ○領域では図形については県平均と比べ大きく上回っている。視覚的な情報が入りやすく、図形を得意とする生徒が多い。 ●活用力の平均正答率が低い。基礎的な力を付けることを優先的に進めていたが、今後は、活用問題も取り入れ、基礎的な力を生かして解く力を付ける。 ●記述式の回答の正答率が低い。問題を解く過程を大切に、説明する力を付ける。	○平均正答率が県・全国平均より大きく上回っている。特に基礎的な計算力は非常に高く、日々の学習が身に付いていると考えられる。 ○活用や応用問題への取組もよく、発展的な学習へ意欲的に向かう態度が見られた。 ●全体の中で、唯一関数の領域で目標値に達しない項目があった。関数の式とグラフの一致や、事象を式に表したりグラフに表したりすることに苦手意識がみられた。
英語	○聞く力、読む力は県平均と同等、または上回っている。授業の中で、読み物をグループ学習で精読することで、読む力の向上につながっていると思われる。 ●リスニング問題で、資料を基に英語で答える問題の正答率が低い。資料の読み取りを含む問題への経験がなく、戸惑ったことが一因と考えられるため、定期考査での同様の問題を取り入れていく。 ●書く力は県平均を下回った。特に条件英作文の問題では、無回答率が30%を超えている。授業の中でも英作文の活動は取り入れているものの、継続的に英作文を書かせる活動を多く取り入れ、英文を書くことの抵抗感を減らしていきたい。	○読む力、書く力は県平均を上回っている。基礎的な問題への正答率が高く、基礎的な定着がみられる。授業で多くのペアやグループ学習を取り入れていることが要因だと考えられる。 ●聞く力は県平均を下回った。特に英文を聞き、その内容を表している絵を選択する問題での正答率が低かった。授業で聞くことに特化した活動を増やすとともに、英問英答での表現の幅を広げていきたい。 ●書く力は県平均を上回ったものの、英作文の問題では無回答の生徒が一定数いた。継続的な英作文指導で、抵抗感を減らしていきたい。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	7年生	8年生
意識	○自分のよさを理解している学習者が県平均と比べて多い。行事や学級活動を通して、お互いに認め合うことができてることが自己肯定感の高さにつながっていると考えられる。 ○話し合い活動で他者の考えを知ること、一人で学習する時よりも学習に対する抵抗感、苦手意識が軽減されていると考えられる。 ●将来の夢や目標をもっている学習者が県平均と比べて少ない。立志式に向けた進路学習や将来について考える時間を通して夢や目標をもつ学習者が増えたと考えられる。また、校外学習や出前授業などで多様な職種について知る機会が増えたとともに将来について考えられる機会になるであろう。	○自分で計画を立てて学習に取り組む学習者が多く、その姿勢が学習時間の長さや学習の成果や、ひいては自己肯定感の高さにもつながっていると考えられる。 ○地域や社会をよりよくしたいという割合が県平均と比べて高い。総合的な学習の時間において、学園全体をあげて、ふるさと八束を知り、自己を見つめ直す活動を実践の成果であるとする。 ●将来の夢や目標をもっている割合は、県平均に比べて低い。職場体験学習、進路指導等を通して、今の自分たちの頑張りが今後どのように生かされていくかを考えていけるように支援する。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】 7年生 26 名 8年生 17 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)